

製品名: RNA ポリメラーゼ II サブユニット B1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02824**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.54mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 217 kDa; Observed MW: 250 kDa

抗原情報

遺伝子名	POLR2A
別名	POLR2A; POLR2; DNA-directed RNA polymerase II subunit RPB1; RNA polymerase II subunit B1; DNA-directed RNA polymerase II subunit A; DNA-directed RNA polymerase III largest subunit; RNA-directed RNA polymerase II subunit RPB1
遺伝子 ID	5430
SwissProt ID	P24928
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

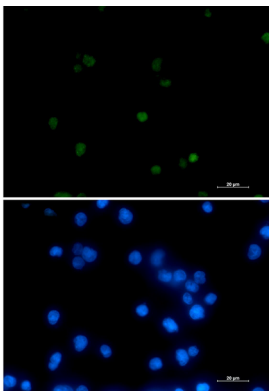
背景

転写伸長過程において、ポリメラーゼ II は転写産物が伸長するにつれて鋳型上を移動します。伸長はポリメラーゼ II 最大サブユニット (RPB1) の C 末端ドメイン (CTD) のリン酸化状態に影響を受けます。このドメインは、転写の開始、伸長、終結、および mRNA プロセッシングを制御する因子の集合のためのプラットフォームとして機能します。

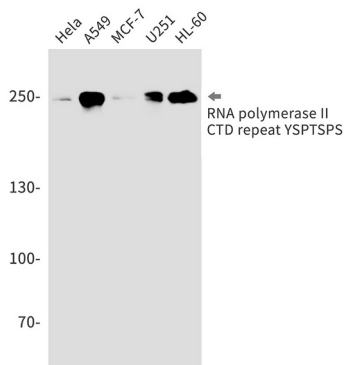
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

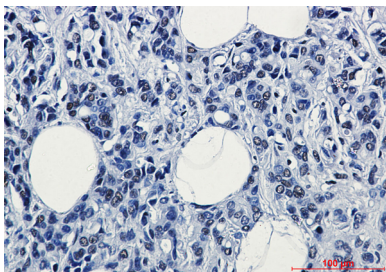
画像データ



RNA ポリメラーゼ II サブユニット B1 抗体および DAPI (青) を使用した CEM 内の RNA ポリメラーゼ II サブユニット B1 (緑) の免疫細胞化学分析。



RNA ポリメラーゼ II CTD リピート YSPTSPS 抗体を使用した、Hela、A549、MCF-7、U251、HL-60 溶解物中の RNA ポリメラーゼ II CTD リピート YSPTSPS のウエスタンブロット分析。



RNA ポリメラーゼ II CTD リピート YSPTSPS 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。